

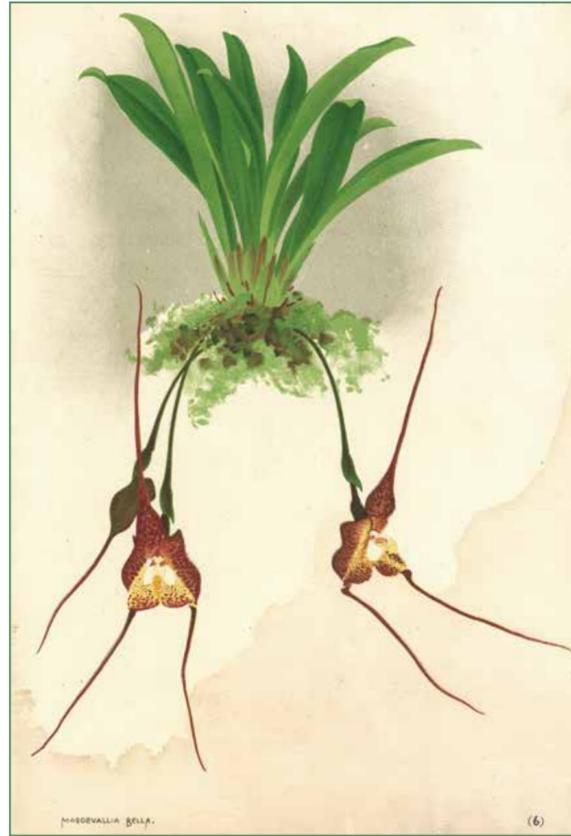
花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 肇 発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

'22 7

名古屋園芸



マスデバリアベルラ Masdevalia bella f. (描いた画家名不詳)

本図は、東京園芸同好会により、大正二年(一九一三)から刊行が始まり、横濱植木株式会社から発売された、「園芸植物図譜」第一集(一〇)「洋蘭編」に収録された一点です。当時のマスデバリア属は現在複数属に分類され、現在は *Dacalia bella* Caluer. (ドラキュラヘ)と改められています。亮軒記
◎訂正 前号このコーナーの解説に校正ミスがありました。お詫びし訂正します。
①4行目 誤 藩士殿 正 繁殖 ②4行目 後 5行目 輩 正 支配

心ときめく夏ギフト



COLORで選ぶ バースデーフラワー ~LIME~

日差しが増しに夏らしくなる季節です。暑さのこたえるこの時期は、涼しげなライムカラーはいかがでしょう。今月は「LIME」をテーマに、合わせて素敵な花をご紹介します。

【トルコキキョウ】

今回使用した「アンバーダブルモヒート」は、光沢のある濃いグリーンの花色が印象的な品種です。「モヒート」にちなんで、ミントと一緒にアレンジすれば爽やかな香りもプラスされてとても涼やかな印象になります。

【アンズリウム】

愛らしいハート形が特徴的なアンズリウム。カラーバリエーションは様々あり、なかでもグリーンはエナメルのような質感と相まって、涼やかな夏のフラワーギフトにおすすめです。



④ - LIME YELLOW -
モダンアレンジ



⑤ - LIME GREEN -
パフィオブレー

【パフィオペディラム】

花弁の一部が袋状になった不思議な姿をしたランです。独特すぎる花の形が目を引きま。艶感があり、筆で描いたような模様は芸術的な印象。高級感をお求めの方にはおすすめの花です。

【クラスベディア】

葉のない細身の茎につける球体の花をつけるキク科の花です。グリーンがかったイエローは爽やかさを際立たせます。アレンジのアクセントにいかがでしょう。ドライフラワーとしても楽しめます。

【モネのヒマワリ】

透き通るようなレモンイエローの花びらが美しい八重咲きのヒマワリです。モネは季節や時間と共に移ろう光を大事にした画家といわれています。モネの世界観とマッチした明るいレモンイエローです。



⑥ - LIME GREEN -
ナチュラルアレンジ

さっぱりとした爽やかな「ライム」を連想させるカラーは、見るだけで気分をリフレッシュしてくれます。ブルーを添えて清涼感をプラスしてもいいですね。7月は「ライムカラー」で暑中のご挨拶はいかがでしょう。

information

今年も花蓮の季節がやってきました
花蓮展 6/25 (土) ~8/28 (日)



毎年、ご好評いただいている花蓮展。品種数も30品種以上。来春、蓮根の状態販売いたします。名古屋園芸自社栽培につき蓮根がとれる数に限りがありますので、予約限定販売となります。
興味のある方はお気に入りの品種を見つけて、ぜひチャレンジしてください。育て方もしっかり説明いたします。少しのコツさえつかめばお家で毎年咲かせることができます。



花の博物館 第318回

ほたるが里

一陽斎豊国画 三枚続
弘化四年(嘉永五年)
(一八四七~一八五二)
佐野喜刊

小笠原左衛門尉亮軒

昆虫が飛び交う姿を観賞したり、その声を聞きに、野や山へ態々出かける。こうした習慣を持つ民族は、他にあることは私には知らない。平安の昔より、和歌に詠み、文章に表現して暮らして来ました。私も昭和三十年代、初夏の夕暮、所用で現長久手市の岩手へ行き、暗くなったバス停へ行く道すがら、多くの虫の乱れ飛ぶ姿について見とれたことを思い出しました。
ホタルばかりでなく、この絵に描かれている縁台などや浴衣姿もめつきり少なくありません。室でも和室は障子を簾戸に、緞通は藤敷物に、仏壇の打敷も夏用に、衣替えと同時に座敷の調度も夏用に替える、私はガンコに守って生活しています。お笑い種です。

今年はどうなる！ ぶどうのはなし



① 9月にはこの状態に、なんとかもってきたいものです。

みなさんご存知の方も多いと思いますが外の苗売り場にはブドウの木があります。まさしくシンボルツリーにふさわしい佇まい。樹齢も40年近くになってきました。その名はマスカットオブアレキサンドリア。ブドウの女王の異名を持ちます。紀元前からエジプトで栽培されていたと言われてます。女王様と呼ばれているだけあり、生育環境も重なり非常に難しい女王様ここに最近はお姿を遂げようとしております。

数年前までは虫や病気などあまり気にすることなく順調に生育していたのですが、ここ数年は事情が変わってきました。カイガラムシ、うどんこ病、花ぶるい(うまく受粉できていない)で房の形がいびつになるなどなかなかして手のかかる女王様なのです。

昨年はうどんこ病が猛威をふるい、葉っぱから実まですべてとっていいほどうどんこ病にかかってしまいました。その経験から今年はまだ芽吹いたばかりの頃から殺菌剤で対応している状態です。カイガラムシにいたっては真冬の枝だけの状態から越冬しないように樹皮をめくったり、殺虫剤をかけたりと対応しています。

さらに、これから灼熱の名古屋の夏を超えなければならぬですし、苗売り場のハウスは、風通しが決してよくないで湿度が難敵になります。なかなか過酷な状況を超えながら9月中旬の収穫を迎えます。ブドウの中でもマスカットオブアレキサンドリアは収穫が遅い晩生の品種です。

今現在(6月下旬)の段階では90房程度できています。ここからどれだけいい状態、食べられる状態を保てるか楽しみでもあり、心配でもあります。

香りも強く上品な甘さで味は格段のおいしさがあります。生産の難しさもなかなか販売されているのを見かけない品種です。9月中旬の収穫期を迎えたら皆さんにも試食してもらおうと考えています。楽しみに女王様の成長を見届けてくださいね。



② 6月下旬の様子です。1センチぐらいの粒で、色も緑が濃いです。あと2か月半なんとか無事に育てたいものです。